

Title	岩田仩教授の長逝を悼む
Sub Title	
Author	山本, 登
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1943
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.37, No.1 (1943. 1) ,p.72- 76
JaLC DOI	10.14991/001.19430101-0072
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19430101-0072

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

岩田似助教授の長逝を悼む

山 本 登

岩田似助教授は去る正月三日午後四時、病のため三十三歳の若き命を終られた。この前途有爲なる青年助教授の急逝に對し、われ／＼は心底より痛惜措く能はざる所である。

昨年九月初旬の入院以來、四箇月に亘る病床生活は同君にとつて餘りにも苛酷な運命の惡戯であつたと思はれる。抑々入院せられた動機そのものが、原因不明の發熱に對處して、徹底的な健康診斷を受けられ度いといふ位の軽いものであつた。「一、二週間で退院出来る豫定だ」と元氣に語られたその際、同君自身の言葉を、自分は決して忘れ去る事が出来ない。

爾來病勢は意外な展開を示し、數週間は依然として病名不明の儘に忽ちにして打過ぎた。あの朗らかな同君の顔に漸やく焦慮の色が窺はれ、見舞ふ者の秘かに心を痛め始めたのは此の頃であつた。殊に同君がこの數年間に示された秀れた學問的業績と、これを基礎として、昨春以來異常な熱意と抱負を以て樹立せられた幾多の新計畫を知る者にとつて、徒らに病床に呻吟する同君の心情を想ふ時、適切な慰安の言葉すら見出すに苦しんだ。

やがて病氣が心内膜炎と決定し、病氣の性質上可成り長期の療養を必要とする事が判明するに及んで、幸にも同

君は日頃の旺盛な精神力を取戻したかに見えた。「時／＼へかければ必ず快癒する」との信念の下に、この時から同君の倦まざる闘病の生活が始まつた。われ／＼も茲に同君を力づける手懸りを得た事を喜び、屢々病床を訪ふては激勵した。

その後の病狀の一進一退は、同君にとつてもわれ／＼にとつても、正しく一喜一憂の經過であつた。幾度か同君と共に「今度こそは」と快癒を期街し、そして又幾度か病勢の惡轉を相共に苦慮した。しかも執拗なる病菌はすべての希望と期待を裏切つて、その勢力の浸潤を止めなかつたのであらう。十一月下旬、大事をとつての面會謝絶の宣告を手にして以來、われ／＼一同の希望と憂慮の交錯する裡に、急逝の悲報に接したのであつた。

同君は東京高師附屬中學を経て、慶應義塾に學び、昭和九年三月本塾經濟學部を卒業後直ちに助手を奉職、貿易理論、商業政策を専攻として同十五年四月助教授となられ、現在に至つたものである。經濟學部在學中は同井鹿松元教授の門下として俊敏を謳はれ、又金融研究會々員として理論的研究に才幹を示されて居つたと聞く。

助手となられてよりは、先づ貿易理論の學說史的研究より出發され、從來の多くの貿易理論研究に飽足らずとして、獨自の觀點から古典學派貿易理論の吟味と近代的貿易理論への發展の跡付けを試みられた。その成果が處女出版「國際貿易理論序説」(昭和十五年四月初版)であり、その研究は學會の注目を呼び、早くも若手の第一人者として、大いに將來を囑望されるに至つた。この部門における同君の研鑽は更に重ねられ、獨得の構想を盛つた新たな貿易理論の展開を導き、愈々洋々たる前途を確約せられて居つた。就中「貿易理論の構造論的構想」(國際經濟研究昭和十六年九月號所載)及び「東亞共榮圈と貿易理論の展開」(三田學會雜誌昭和十七年六月號所載、「國際貿易理論序説」再版に收録)の二論稿は、極めて示唆に富める研究として、必讀に價する力作である。

一方國內商業理論に關しても、獨自の分野を開拓されつつあり、既刊の「商業政策」(昭和十七年刊)の小著の外、配給組織論について斬新なプランを構成せられ、將に執筆に取掛らんとせられた秋に、不幸今回の病を得られたのであつた。今は遺稿となつたその構想案文を讀むにつけ、抱負半ばにして倒れた同君の心中を察して痛恨限りなきものがある。

講座としては、商業政策、貿易理論、獨(英)語經濟學等を擔當せられて居つたが、その論理的にして明快な講義は學生の人氣の焦點であつた。同君の議義より大なる啓蒙を受けて心酔してゐた學生の數も頗る多かつた。特に研究會指導には非常な熱意と愛情を以て當たられ、同君を圍む單なる師弟關係を越えての多數學生の緊密な集ひに、われ／＼も屢々羨望の眼を投じたものであつた。

本塾以外においては、數年前より東京農業大學講師として商業政策を講ぜられ、又國際經濟調査所の研究員として迎へられ、大いに活躍せられて居つた。

短年月ではあつたが活氣に充てる同君の學問生活の回顧を通じて、われ／＼の胸を打つものはその學問的な良心と情熱、更には論理的な才能と豊かなる着想力であつた。あの均整の取れた小柄の身體の何處にそれだけの力が潜むかと疑はしむる程、學問に對してはひたむきな努力を注がれ、智識を論理的に系統化され、次から次へと新たな構想を樹てられて行つた。文字通り若き俊才であり、畏敬すべき人物であつた。特に學者として既に發展の第一階程に乘入れられて居つたのであり、將に愈々伸びんとして居られた秋だけに、その長逝は惜しまれてならない。實に慶應義塾にとつてのみならず、日本の學界のための不幸であつた事を信じて疑はない。

〔附記〕 自分は岩田君の後輩として、公私共に友人としてよりは、眞の兄弟同様に附合ひを願つて來た。それだけに同君

からは凡ゆる意味において大なる啓蒙を受け、全く感謝の言葉を知らない。その訃みを以て、諸先生、諸先輩が居られるのにも拘らず借越にもこの追悼文を記する役目を謹んで御引受した。しかしいさ筆を手にしてみるさ悲しみが先に立つて、一向に選ばない。只衷心より同君の御冥福を祈るのみである。……

岩田似助教授主要著作目録

著書

國際貿易理論序説 昭和十五年四月 巖松堂刊

貿易政策 昭和十五年五月 ダイヤモンド社刊

現代貿易統制政策 昭和十五年九月 慶應出版社刊

商業政策 昭和十六年十月 慶應出版社刊

國際貿易理論序説(改訂増補版) 昭和十七年十二月 巖松堂刊

論文

一、正統學派貿易論(三田學會雜誌第二九卷二號、昭和十年二月)

二、國際價格理論——正統學派貿易理論研究——(三田學會雜誌第二九卷八號、昭和十年八月)

三、輸入割當制度(三田學會雜誌第二九卷十二號、昭和十年十二月)

四、爲替清算制度(三田學會雜誌第三〇卷四號、昭和十一年四月)

五、貿易理論の發展と貿易政策原理——正統學派貿易理論研究——(三田學會雜誌第三〇卷十號、昭和十年十月)

六、貿易理論と貨幣理論との論理的關係——正統學派貿易理論研究——(三田學會雜誌第三二卷七號、昭和十二年七月)

七、生産統制と貿易統制——細業を中心として——(三田學會雜誌第三二卷三號、昭和十三年三月)

岩田似助教授の長逝を悼む

- 一、日本資本主義成立過程に於ける配給組織の變革——砂糖業を中心として——(三田學會雜誌第三二卷七號、昭和十三年七月)
- 一、我國に於ける小賣商問題——配給組織論の理論的反省——(三田學會雜誌第三二卷十二號、昭和十三年十二月)
- 一、計畫經濟下に於ける配給組織の若干問題(三田學會雜誌第三三卷七號、昭和十四年七月)
- 一、青果市場の一研究——商業調査報告の一齣——(三田學會雜誌第三四卷三號、昭和十五年三月)
- 一、最近に於ける日本戰時貿易政策論の展望(三田學會雜誌第三四卷六號、昭和十五年六月)
- 一、理論的商業學への一試論(三田學會雜誌第三四卷七號、昭和十五年七月)
- 一、商業學の對象と體系(三田學會雜誌第三四卷十號、昭和十五年十月)
- 一、商業政策の現代的課題(三田學會雜誌第三五卷四號、昭和十六年四月)
- 一、貿易理論の構造的構想(國際經濟研究第二卷九號、昭和十六年九月)
- 一、農村に於ける商取引の展開——藁を中心として——(三田學會雜誌第三五卷十二號、昭和十六年十二月)
- 一、東亞共榮圈の經濟構造(國際經濟研究第三卷二號、昭和十七年二月)
- 一、東亞の石炭問題(國際經濟研究第三卷三號、昭和十七號三月)
- 一、東亞共榮圈と貿易理論の展開(三田學會雜誌第三六卷六號、昭和十七年六月)

前號

(第三十六卷
十二月號)

目次

現代統制經濟政策の理論的分析……氣賀 健三

經濟圈支拂決濟制度に關する若干の考察……金原賢之助

菊池勇夫著「日本勞働立法の發展」……藤林 敬三

日本貿易産業『輸出ブラシ工業』上巻を讀む……

……豊田 四郎

三田學會第三十六卷後半期總目次

購 一 部 金五拾錢 郵税金 貳錢
讀 半ヶ年分 金貳圓九拾錢 郵税金拾貳錢
料 一ヶ年分 金五圓四拾錢 郵税金貳拾四錢

編輯及び事務に關する一切の用件は發行所へ

營業に關する用件は發賣所へ

原稿締切期日は發行前月十日

昭和十七年十二月二十五日印刷納本
昭和十八年一月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌 第三十六卷第七號
禁 轉 載
編輯者 東京市芝區三田慶應義塾內 江田 昭保
發行所 東京市赤坂區新町五ノ四二 金子 鐵五郎
印刷所 東京市赤坂區新町五ノ四二 金子 活版所

發行所 東京市芝區三田慶應義塾內 理財學會
配給元 東京市神田區淡路町二ノ九 日本出版配給株式會社

購讀申込は慶應出版社へ(東京市芝區三田二ノ二)